

(案)

福知山市まち・ひと・
しごと・あんしん創生

総合戦略

アクションプラン

(平成30年度)

平成30年3月27日

<目次>

基本目標Ⅰのアクションプラン	1
基本目標Ⅱのアクションプラン	8
基本目標Ⅲのアクションプラン	12
基本目標Ⅳのアクションプラン	14

<留意事項>

- ・事業の所管課は平成29年度の担当課名を表記しています。

<アクションプランにおける事業の区分>

- ◆・・・地方創生関連交付金の活用を図る事業
- ・・・企業版ふるさと納税の活用を図る事業

基本目標 I のアクションプラン

基本目標 I

福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

取組方針

農業分野においては、国や京都府とともに農業・農村の持つ多面的機能を維持するための支払交付金制度や中山間地に対する直接支払制度等に取り組む一方で「稼ぐ」という視点から、生産者と事業者間のマッチングによる新たな販路拡大や新商品開発等の展開を図ったり、国際水準GAPの認証を取得するなど将来展望を切り開こうとする意欲ある農業者を後押しします。また、ジビエも含めた畜産業の振興や丹波漆の生産量拡大等の取組を進めます。

産業分野においては、福知山産業支援センターにより、各支援機関と連携して、産業全般にわたる様々なニーズに対応した支援を行うとともに、伝統産業の後継者育成支援に取り組めます。

観光分野においては、福知山観光地域づくりセンターにより地域資源と経営感覚のある事業者を繋ぎながら、また、芸術文化の振興やスポーツ観光の推進も合わせて取り組み、持続可能な観光地域づくりを継続して行います。

また、「肉のまち福知山」事業として、畜産業等調査支援事業とも連携しながら、「(仮称)福知山肉まち協議会」を設立し、情報発信やイベントの開催に取り組めます。そして、スイーツ観光につながる取組として、丹波くりの生産拡大とスイーツ店のPR、ブランド強化を行いつつ、スイーツフェスティバルとの連携も進めます。

また、再生可能エネルギーに関しては、民間事業者が主体的に参入でき地域にとってもメリットのある事業実施に向け調査研究等を進めます。

これらの取組に加え、有害鳥獣対策、企業誘致、中心市街活性化、雇用の確保等の取組を着実に推進することで、本市に「しごと」をつくり、若い世代が希望を持ち安心して働くことができるまちを目指します。

基本目標に係る主なKPI

	H29末	H30末	H31末
新規就農者の営農継続者（累計）	27人	28人	29人
長田野工業団地アネックス京都三和分譲区画数（累計）	16区画	17区画	18区画
起業支援制度を利用して起業した人の数	15人	20人	25人
中心市街地歩行者・自転車通行量	6,532人/日	9,532人/日	9,532人/日
観光消費額	2,038,500千円	2,062,500千円	2,062,500千円
観光消費額（宿泊除く）	1,050,000千円	1,100,000千円	1,100,000千円
観光入込客数	834,849人	915,000人	942,000人
外国人宿泊者数	2,111人	2,543人	2,976人
再生可能エネルギー自給率	3.3%	3.4%	3.5%

1 農林水産業の振興

◆農商ビジネスフェア事業（農林業振興課）

事業概要：生産者と事業者間の情報交換・相互交流を府深めるとともに、地域間・事業者間によるコラボレーションの中から新商品開発等の展開やイノベーションを生み出し、新たな「稼ぐ力」の創出に結びつけるため、民間主導によるビジネスマッチングに取り組みます。

- ・京都府北部地域連携都市圏構成市町、京都府、地域金融機関等と連携したビジネス商談会等の開催

2 商工業の振興

◆商店街等振興事業（産業振興課）

事業概要：市内商店街の賑わいづくりや集客増のために、商店街団体が行うイベント事業に対して支援を行い、市内商店街等の活性化促進を図ります。

- ・商店街等イベント事業への補助

◆福知山市産業支援事業（産業振興課）

事業概要：あらゆる産業分野において、経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うために福知山産業支援センター（ドッコイセ biz）を運営し、地域経済の活性化を図ります。

- ・福知山市産業支援センターの運営（本市及び関係機関で構成する一般社団法人福知山産業支援機構への委託）

◆福知山産業フェア事業（産業振興課）

事業概要：商業・工業・農業等に関わる関係団体が一体となり、三段池公園体育館及び周辺で本格的な物産展等を開催し、情報交換、交流などを通じて取引機会の拡大、異種業者との情報交換、交流産業育成と活性化を推進するための産業フェアを開催します。

- ・福知山産業フェアへの補助

◆福知山市伝統文化後継者育成事業（文化・スポーツ振興課）

事業概要：市民の「心の豊かさ」や「地域の魅力」を醸成し、本市の歴史・文化の個性と魅力を引き出す観光・地域資源となっている本市の漆や和紙等の魅力ある伝統文化を、未来に継承するための後継者育成への支援を行います。

- ・ 伝統文化(伝統技術・工芸製品)の後継者育成に係る生産者及び伝承活動団体等の事業に対する補助
- ・ 漆塗り・和紙漉き・藍染の継承に関心を持つ人材が行う調査・研究、研修事業等への補助

3 観光業の振興

◆「スイーツのまち福知山」事業（農林業振興課・まちづくり観光課）

事業概要：「丹波くり」の生産拡大に対する支援と、生産した栗を市内での消費促進に繋げる仕組みをつくることにより、「丹波くり」の生産拡大とブランド化の強化、また、「スイーツのまち」のPRによる賑わい創出による観光誘客の増加を図ります。

- ・『スイーツの森整備』に向けた「丹波くり」生産拡大への支援
- ・「丹波くり」を使用したスイーツコンテストの開催支援
- ・「福知山スイーツフェスティバル」の開催支援

◆佐藤太清記念美術館特別展事業（文化・スポーツ振興課）

事業概要：福知山市名誉市民である佐藤太清画伯を記念した市美術館において特別展等を開催し、本市の文化・芸術振興を図るとともに、美術館の集客力向上から中心市街地への回遊増加を図ります。

- ・生誕105年佐藤太清展の開催
- ・市内作家展の開催
- ・特別展 村居正之展の開催
- ・高校アート展の開催 等

◆福知山城憩いの広場（ゆらのガーデン）管理事業（産業振興課）

事業概要：中心市街地への回遊拠点としてゆらのガーデンを管理することにより、市民や来訪者が憩える場を提供するとともに、関連事業との連携により、まちなかへの誘客を図り、活性化につなげます。

- ・日常維持管理業務
- ・ガーデニングサークルへの補助

◆お城で忍者事業（まちづくり観光課）

事業概要：明智光秀が築城した福知山城を全国にPRすることを目的に、平成9年度から開催している「くの一武道大会丹波福知山の段」を主として、市民が忍者体験をできる事業を行います。

- ・「くの一武道大会丹波福知山の段」の開催
- ・スイーツを食べながら忍者体験できる「忍者でまちぶら」の開催
- ・「光秀忍たま武道大会」における忍者体験コーナーの設置

◆海の京都DMO事業（まちづくり観光課）

事業概要：「海の京都観光圏」として認定された京都府北部7市町で観光団体や民間事業者等と連携し、「海の京都DMO」を組織・運営し、当地域への集客力の強化及び交流人口の拡大を目指します。

【関係市町】

福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

◆SEA TO SUMMIT 事業（文化・スポーツ振興課）

事業概要：京都府、舞鶴市、綾部市と共に管内の自然を活用した競技大会「SEA TO SUMMIT（カヌー・自転車・ハイク）」を民間主導の運営で実施し、中丹地域内の周遊観光を促進します。

- ・開催経費に対する負担金の拠出

◆福知山観光地域づくりセンター設置運営事業（まちづくり観光課）

事業概要：福知山市の戦略的かつ総合的な観光施策を推進するためのプラットフォーム組織として平成 29 年 6 月に設置した「福知山観光地域づくりセンター」により、本市の農産物、人、文化、自然などの地域資源と事業者を繋いで持続可能な観光地域づくりを推進します。

- ・専門人材（戦略マネージャー・地域づくり担当）を登用し戦略的かつ総合的な観光地域づくりを推進
- ・福知山観光地域づくりセンターの運営委託

◆「肉のまち福知山」事業（まちづくり観光課）

事業概要：本市にかつて西日本三大家畜市場があったことや、数多くの焼肉店・精肉店があることなど複合的な肉文化の存在を背景に、新たな観光コンテンツとして「肉のまち福知山」を発信することで観光誘客や地域経済の活性化を図ります。

- ・行政や、商工団体、食肉関係の事業者・団体、観光協会等による「(仮称) 福知山肉まち協議会」の組織
- ・「(仮称) 福知山肉まち協議会」によるPR戦略の検討や情報発信、イベント等への補助

◆福知山アーティスト・イン・レジデンス事業（文化・スポーツ振興課）

事業概要：地域の人々が主体となって芸術文化活動に関わる環境づくりを促進し、地域の魅力をアートの視点から引き出すアーティスト・イン・レジデンス事業を京都府と協調して実施します。

- ・アーティストが市内に約 2 か月滞在し、リサーチ活動をとおした創作活動を実施
- ・市民を巻き込んだワークショップ、創作活動、発表・展示会の実施

◆森の京都DMO事業（まちづくり観光課）

事業概要：京都府、市町、地域住民で進めている「森の京都」を推進するため、地域資源等の販売、観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総

合的に行うことを目的に「森の京都 DMO」を組織・運営し、当地域への集客力の強化及び交流人口の拡大を目指します。

【関係市町】

福知山市、綾部市、亀岡市、南丹市、京丹波町

雇用の確保 5 分散型エネルギーの推進 6 高度情報

基本目標Ⅱのアクションプラン

基本目標Ⅱ

福知山市への新しいひとの流れをつくる

取組方針

福知山公立大学では、大学内に設置する「北近畿地域連携センター」や中心市街地に新設する「まちかどキャンパス」において市民講座等をはじめとする様々な地域連携事業を展開していきます。また、平成29年度に策定した「知の拠点整備構想」に基づき、文系の福知山公立大学と平成30年秋に開講する理系の京都工芸繊維大学福知山キャンパスがそれぞれの特色と強みを活かした文理連携を深めるとともに、両大学を核とした産学官連携を推進します。さらに、平成32年度開設を目途とする新学部の設置に向けて必要となる教育研究体制や施設改修整備を支援し、目標とする志願者・入学者を引き続き確保することを目指します。

移住・定住の促進については、空き家バンク登録物件の紹介窓口を一本化するとともに、「福知山」を知っていただくための福知山移住サイト「FUKUFUKU LIFE」の継続的運用による情報発信や在京・在阪での移住セミナー、福知山移住に興味ある層を対象としたセミオーダー型体験ツアーなどを展開します。また、就業や起業といった移住目的も多いことから、就業支援機関や福知山産業支援センターとの連携した伴走型の支援など、移住を促進する取組を進めます。

また、「次世代交流ワークショップ」等により高等学校等との連携を進め、若者のまちづくり意識の向上や郷土愛の醸成を図り、未来の福知山を切り拓く人材を育成していきます。

シティプロモーションの推進にあたっては、福知山市の多様な魅力を戦略的に情報発信し、認知度やイメージの向上させるためのPR（パブリックリレーション）を継続します。

これらの取組に加え、福知山公立大学就学生への支援等のその他の取組を着実に推進することにより、本市への新しいひとの流れを生み出し、「しごと」と「ひと」の好循環の確立を目指します。

基本目標に係る主なKPI

	H29末	H30末	H31末
福知山公立大学への入学者数	120人	120人	200人(H32)
高等教育機関等卒業者の圏域内定着者数	24人	26人	28人
人口社会増	△120	△120人	△100人
空き家バンクを活用した移住世帯数	5世帯	5世帯	5世帯
移住支援制度を利用し転入した人の数	20人	20人	20人
ふくちファンクラブの登録者数（累計）	250人（見込）	500人	1,000人

1 地（知）の拠点としての地方大学の強化

◆福知山公立大学「知の拠点」推進事業（大学政策課）

事業概要：平成30年2月に策定した「知の拠点」整備構想に基づき、福知山公立大学、京都工芸繊維大学福知山キャンパスを中核とする「知の拠点」づくりを推進し、北近畿エリアの地域を担う人材の育成、若者の定着、産業の振興、地域活性化につなげます。

- ・福知山公立大学新学部の設置に向けた支援・施設整備と両大学、企業、地域住民等が利用する共同研究施設の整備
- ・両大学及び企業や自治体、金融機関、その他各種団体等との連携を推進する、「知の拠点」推進体制（コンソーシアム）の構築
- ・福知山公立大学（北近畿地域連携センター）が実施する公開講座やまちかどキャンパス事業などの地域連携・協働事業等に係る取組支援

2 移住・定住の促進

◆移住・定住促進事業（移住・企業立地推進課）

事業概要：移住者のワンストップ窓口体制のもと効果的な移住施策を推進することにより、若年層や子育て世代等の移住を促進し、定住人口及び交流人口の増加による地域振興を図ります。

- ・情報発信・セミオーダー型体験ツアー、回帰フェア、移住セミナー等の移住希望者、移住者に関する支援等
- ・受入地域支援
- ・京都府北部地域連携都市圏実施事業への負担金
- ・空き家バンク活用支援

◆ふるさと就職おうえん事業（産業振興課）

事業概要：合同就職面接会や地元企業見学会等を開催し、福知山市への就職を促し、圏域内の人材確保及び移住・定住を促進します。

- ・福知山雇用連絡会議による就職フェスタ等の実施に係る負担金
- ・隣保館パソコン巡回講座の実施
- ・京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会による京阪神での合同企業説明会開催に係る負担金

3 高等学校の特色を活かした活気の創出

◆次世代交流ワークショップ事業（経営戦略課）

事業概要：高校生などの若者を中心とする市民が福知山市のまちづくりや未来について意見を交わす場を創出し、若者のまちづくり意識の向上や意見の抽出、郷土愛の醸成を図るとともに、にぎわいと活気ある福知山の新時代を切り拓く人材の育成をめざします。

- ・市内高等学校等と連携した「高校生フューチャーセッション」の開催

4 シティプロモーションの推進

◆福知山PR戦略総合推進事業（秘書広報課）

事業概要：シティプロモーションの視点にたち、本市の魅力を発掘、再確認して福知山ブランドを市内外に発信し、市民の市への愛着と誇りを育み、本市の認知度アップ、イメージの向上と定着により、市民活動の活性化や更なる産業誘致、観光誘客を図っていきます。

また、「パブリック・リレーションズ」の考えに基づいた戦略的な情報発信を展開します。

- ・イベントや市政情報等のリリース作成配信、プレスツアーの実施
- ・本市の魅力を広く強く打ち出すPRの企画実施
- ・ブランドメッセージ「いがいと！福知山」の活用促進
- ・職員のPRスキルと市全体の発信力の向上

基本目標Ⅲのアクションプラン

基本目標Ⅲ

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

取組方針

全ての子どもの将来が家庭の経済的・社会的状況に左右されることなく、自ら将来を選択し自立していけるよう、妊娠・出産・就学前・就学後においても切れ目なく包括的に支援するため「子育て世代包括支援センター」を設置するとともに、子どもの多様な相談の受け皿となる「子育て総合相談窓口」を整備し、手続きのワンストップ化を図りつつ、個別課題に応じた支援へとつないでいきます。

同時に、子どもや保護者らを伴走型でサポートしていくため、多様な分野の専門職からなる「子どもすこやかサポートチーム」を配置して家庭訪問等のアウトリーチ型支援を強化するとともに、学校や児童館など関係機関との連携を強化し、地域で子どもの豊かな育ち・育みを支える活動を支援していきます。

学校においては、地域の皆様の協力を得ながら実施している「地域未来塾」を全中学校で開校するなどの取組により、家庭の社会的・経済的背景などにより課題を抱える児童生徒へ必要な指導や支援が届くようにします。

また、「福知山市手話言語及び障害のある人の多様なコミュニケーション促進条例」の基本理念に則り、手話言語の普及に努めるとともに、障害の特性に応じた多様なコミュニケーション手段の利用を促進することにより障害や障害のある人への理解を進めるとともに、必要な手助け・配慮を実践する「あいサポート運動」に取り組み、共生社会を実現していくことを目指します。

これらの取組に加え、その他の妊娠・出産・子育ての支援や男女共同参画、雇用確保等に係る取組を着実に推進することで、若い世代が「あんしん」して就労、結婚、出産、子育てできる地域社会の形成を図り、人口減少の克服につなげていきます。

基本目標に係る主なKPI

	H29末	H30末	H31末
合計特殊出生率	1.96 (H26)	—	2.0
子どもが育てにくいと感じる保護者の割合	16.1%	15.6%	15.1%
地域未来塾設置数	5校	9校	9校
手話奉仕員養成研修事業参加者数	22人	30人	33人
市役所障害者雇用率	2.59%	2.75%	2.95%

基本目標Ⅳのアクションプラン

基本目標Ⅳ

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、

地域と地域を連携する

取組方針

市民と連携を図りながら、「中心市街地活性化基本計画」を推進し、広小路商店街では通行車両・歩行者の安心・安全を確保した道路改良・街並み形成を進め、また空き家・空き店舗の活用促進を図ります。

公共交通の最適化に向けては、「地域公共交通網形成計画」に基づき、地域の事情に応じた公共交通の再編や新たな交通体系の導入等取組みを進めていくとともに、公共交通空白地有償運送事業の導入を進めるため、三和地域における地域コミュニティ交通導入モデル事業等を実施します。

また、自主防災組織の結成・活動への支援や、出前講座の開催、地域防災マップの作成支援などの取組を進めます。そして、「災害時要配慮者名簿」の策定を推進し、災害時の避難支援体制の構築に取り組むと同時に、広域避難所の福祉的対応を可能とする環境を整備します。また、消防団車両の更新を計画的に進めるとともに、老朽化した救助工作車や高規格救急車を更新していきます。

保健・医療・福祉を包括的に推進するにあたっては、推進地域づくりの視点を踏まえながら地域福祉の充実を図るため、「地域包括支援センター」を現状の6圏域から日常生活圏とされる9圏域に再配置する準備を進めます。

また、医療介護の多職種連携を促進するための取組をはじめ介護職の医療的ケアへの対応など、地域包括ケアシステムの構築・深化を図るとともに、介護予防の推進、介護人材の確保に努めると同時に、介護者の負担軽減を図るべくアドバイザーの派遣等による介護者支援を行います。

市民病院について、最新鋭のCT付リニアック治療機器への更新をはじめ、地域の中核病院として医療ニーズに応えるため、引き続き、医療スタッフの確保と医療機能の充実に努めます。さらに、大江分院でも、地域包括ケアシステムの構築を踏まえた訪問診療や訪問看護などの在宅医療を推進します。

また、地域間の交流ネットワークを強化し観光や林業の振興を図るために、市道・林道の整備を進めます。

これらの取組に加え、市民が主体となり地域特性や実情に応じた地域運営を実現していくための取組や多様な主体が連携して行う地域づくりの取組を進めるとともに、近隣市町との広域的な連携等時代に合った地域づくりを進め、「自助・共助」が機能する持続可能な協働型社会のもとで安心して暮らしていけるまちづくりに努めます。

基本目標に係る主なKPI

	H29末	H30末	H31末
テナントミックス事業開設店舗数	2件	2件	2件
自家用自動車を利用しない市民の日常移動に対する満足度	31.8% (H26)	—	40% (H32)
自主防災組織の組織率	83.0%	89.0%	95.0%

地域包括支援センター相談件数	7,000 件	7,300 件	7,600 件
森林整備施業面積	405.1ha	458.6 ha	560.25 ha

1 市民協働による市街地・集落整備

◆地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業（産業振興課）

事業概要：中心市街地活性化基本計画の「駅正面リニューアル事業」を推進し、テナントミックスや街なみ環境の整備、まちなか居住の促進を図るとともに、駅正面通りにおいてイベントを実施し交流人口の増加を図ります。

- ・イベントの開催委託
- ・駅正面通りリニューアル事業推進に係る調査企画費、広報活動費等への補助

◆中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業（産業振興課）

事業概要：空き家・空き店舗が増え空洞化が進む中心市街地において、遊休不動産の有効活用により不動産の流動化を促し、まちなか居住の促進と商業の活性化による賑わいの創出を図ります。

- ・空き家、空き店舗ストックバンク制度の実施
- ・空き店舗活用チャレンジ事業補助金
- ・中心市街地テナントミックス推進事業補助金

◆中心市街地誘客・回遊促進事業（産業振興課）

事業概要：中心市街地への回遊性を高め誘客を促進するため、中心市街地の特色を住民自らの力で引き出していくことを目指した取組を行うために組織された実行委員会等に対し、補助金を交付し、中心市街地エリアでのイベント等の実施を促進します。

- ・御霊公園を会場としたミニSL乗車会の開催等への補助

公共交通の最適化 3 防災対策、消防・救急体制の強化 推進

5 地域連携による経済・生活圏の形成

◆広域連携推進事業（経営戦略課）

事業概要：本市と近隣市町の連携強化や新たな生活圏域や行政圏域の形成を目的に、関係する自治体と連携事業を推進します。

- ・京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会にかかる運営負担金

◆地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）（土木課）

事業概要：地域間の道路網整備による交流ネットワークの強化を通じて、交通の利便性の向上、地域間交流を促進するとともに、災害時における避難経路の確保や安全・安心な道路環境の確保を図ります。

- ・ 計画に基づく道路改良・舗装改良等

◆地域間交流促進ネットワーク事業（林道整備）（農林管理課）

事業概要：林道についても必要な路線について整備を行います。

- ・ 計画に基づく道路改良・舗装改良等